趣旨説明

高木彰彦
(九州大学名誉教授)

趣旨説明－日本学術会議における地名問題への取組と本シンポジウムの趣旨（その1）

- 第23期（2014年10月～2017年9月）の2015年5月18日：第23期地球惑星科学委員会第2回IGU分科会で、分科会の下に地名問題を議論する小委員会を設けることを決定し、その後9月18日の日本学術会議幹事会で承認。
- 地名小委員会設置提案書によると、設置目的・審議事項は以下のように記されている。
- 設置目的－（前略）IGUとICAの国内委員会であるIGU分科会傘下の小委員会として、個々の地名ではなく、地名総体に関する諸問題について専ら学術的側面から審議を行い、必要に応じ地球惑星科学委員会を通じて提言を行うことを目的とする。地名は地理学・地図学のほか言語学や現業官庁など多分野との関わりがあり、本小委員会では、学際的な審議を行う場とする。
- 審議事項－1）地名の標準化の方策および地名研究者の育成の推進についての調査・ 検討

  2）学術的側面からの、国家地名機関設置の可能性の検討
- 第23期の活動－小委員会を11回開催し、日本地理学界春季学術大会（2017年3月）において公開シンポジウム「地名標準化の現状と課題－地名委員会（仮称）の設置に向けて」を開催するなど精力的に活動し、提言の提出を目指したものの実現せず。

趣旨説明－日本学術会議における地名問題への取組と本シンポジウムの趣旨（その２）

- 第24期（2017年10月～2020年9月）－地球惑星科学委員会IGU分科会のもとに地名小委員会を設置。2019年5月13日「日本における地名標準化の現状と課題」をテーマに公開シンポジウムを開催し（4頁スライド参照)、同年9月に報告「地名標準化の現状と課題」を地球惑星科学委員会IGU分科会および地域研究委員会地域情報分科会での取りまとめにより提出(５頁スライド参照)。
- 第25期（2020年10月～2023年9月）－地域研究委員会地域情報分科会のもとに地名小委員会設置。2022年12月18日に公開シンポジウム「地名標準化の現状と課題－地名データベースの構築と地名標準化機関の設置に向けて」をオンライン開催(６頁スライド参照)。その後、2023年6月に記録を提出。
- 第26期（2023年10月～2026年9月）においては地域研究委員会地域情報分科会のもとに「地名・UNGEGN小委員会」が設けられて活動を継続し、本日の公開シンポジウム「地名標準化の現状と課題－UNGEGNの活動を理解し日本の地名を考える」の開催を迎えた。
- 本日の公開シンポジウムは、これまでの取組を踏まえ、第一部で国連地名専門家グループの活動と関連するトピックを取り上げるとともに、第二部では「地名を取り巻く社会」として、地名と商標の問題、漢字圏における地名の問題、文化遺産としての地名などのトピックについて専門家のご報告をお願いし、最後に綜合討論を行う予定にしている。活発な意見交換が行われることを期待したい。

日本学術会議公開シンポジウム
日本における地名標準化の現状と課題

■ 日 時： 2019年5月13日(月)
■ 場 所： 日本学術会議　講堂

全体の司会：小口高（日本学術会議連携会員　東京大学）
趣旨説明：岡本耕平（日本学術会議連携会員　名古屋大学）

13:10－13:30　国際社会における日本の地名標準化
田邉　裕（東京大学名誉教授）
13:30－13:50　地名に関する我が国の法制度と行政
野々村邦夫（日本地図センター理事長）
13:50－14:10　市町村合併にともなう地名決定プロセス問題
戸所　隆（高崎経済大学名誉教授）
14:10－14:30　文化財・歴史資料としての地名
服部英雄（くまもと文学・歴史館館長）
14:40－15:00　ジオコーディングと地名
碓井照子（日本学術会議連携会員　奈良大学名誉教授）
15:00－15:20　地名ブランドと知的財産
内尾雄介（日本貿易振興機構知的財産・イノベーション部知的財産課長）
15:20－15:40　教育における地名
三橋浩志（文部科学省教科書調査官）
15:40－16:00　ジャーナリズムにおける地名
片岡正人（読売新聞北海道支社専門委員）

16:10－16:50　総合討論
司会：高木彰彦（九州大学大学院人文科学研究院教授）
16:50－17:00　閉会挨拶
石川義孝（日本学術会議第一部会員　帝京大学）

提出した報告

報告

地名標準化の現状と課題

令和元年（２０１９年）９月２０日

日　本　学　術　会　議

地球惑星科学委員会ＩＧＵ分科会

地域研究委員会地域情報分科会

http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-h190920-2.pdf

公開シンポジウム

地名標準化の現状と課題

地名データベースの構築と地名標準化機関の設置に向けて

「大日本道中綱見記」BL_01_0098　大英図書館所蔵

2022.12/18(日)

13:00-17:00

参加無料

定員 300名

オンライン開催（どなたでも参加いただけます）

事前にリンク先よりご登録をお願いいたします。

https://ritsumei-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_nOOZmlwzS4GaYqgkm1dlhw

近年、国民生活に深く関わる地名をめぐって、様々な問題が発生している。とりわけ、メディアや学校教育、あるいは外国人観光客の増加に対応した地名の外国語表記の不統一の問題が顕在化している。また、社会のデジタルトランスフォーメーション（DX）が展開する中で、公的機関等で登録・公開され、様々な場面で参照される住所データの扱いも議論され始めている。さらに、人文・社会科学に期待される総合知の実現においても、現在そして過去の地名・住所を含めた地名データベース（地名辞書）は、学術の基盤情報の１つとして位置付けられる。

加えて、各国の地名標準化の国際的な規範について助言する機関である国連地名専門家グループ（UNGEGN）では、地名の商業化回避、現地以外から与えられた地名であるエキゾニムの使用や地名の文化的価値などが議論されている。しかし、わが国には、このような地名に関する国内そして国際的な問題に対応できる機関や研究組織が実質的には存在していない。そこで、本公開シンポジウムでは、日本における地名の標準化をめぐる課題を明らかにするとともに、その対応策を検討する。

主催：日本学術会議地域研究委員会地域情報分科会・
　　地球惑星科学委員会 IGU分科会
共催：科学研究費補助金（挑戦的（開拓））「学際的な研究基盤となる日本の「GIS地名辞書」の開発に関する地理学的研究」（研究代表者　矢野桂司）
後援：地理学連携機構、公益社団法人日本地理学会、一般社団法人人文地理学会、
　　一般社団法人地理情報システム学会、日本地図学会
お問い合わせ先：日本学術会議地域研究委員会・地域情報学分科会委員長
　　矢野桂司（立命館大学）　yano@lt.ritsumei.ac.jp

《総合司会》矢野桂司（立命館大学文学部教授 日本学術会議第一部会員）
山田育穂（東京大学空間情報科学研究センター教授）

13:00	趣旨説明 岡本耕平（愛知大学文学部教授）
13:10	海外での地名標準化の動向 渡辺浩平（帝京大学文学部教授 日本学術会議連携会員）
13:30	地名の公的化のプロセス 野々村邦夫（一般財団法人日本地図センター顧問）
13:50	地方自治における地名をめぐる諸課題 荒見玲子（名古屋大学大学院法学研究科教授）
14:10	アドレス・ベース・レジストリの推進について 平本健二（デジタル庁データ戦略統括）
14:30	休憩
14:40	地名から見る地域の歴史と漢字表記の課題 狩俣繁久（琉球大学名誉教授 日本学術会議連携会員）
15:00	地名の情報学とデータ駆動型研究の展開 北本朝展（ROIS-DS人文学オープンデータ共同利用センター センター長）
15:20	教科書における地名表記 本田智比古（帝国書院編集部企画室課長）
15:40	規範なき地名の取扱いとその影響 今尾恵介（著述業）
16:00	休憩
16:10	総合討論 〈司会〉高木彰彦（九州大学名誉教授）
16:50	閉会挨拶 春山成子（三重大学名誉教授 日本学術会議第三部会員）
17:00	閉会

《総合司会》矢野桂司（立命館大学文学部教授 日本学術会議第一部会員）
山田育穂（東京大学空間情報科学研究センター教授）

13:00	趣旨説明 岡本耕平（愛知大学文学部教授）
13:10	海外での地名標準化の動向 渡辺浩平（帝京大学文学部教授 日本学術会議連携会員）
13:30	地名の公的化のプロセス 野々村邦夫（一般財団法人日本地図センター顧問）
13:50	地方自治における地名をめぐる諸課題 荒見玲子（名古屋大学大学院法学研究科教授）
14:10	アドレス・ベース・レジストリの推進について 平本健二（デジタル庁データ戦略統括）
14:30	休憩
14:40	地名から見る地域の歴史と漢字表記の課題 狩俣繁久（琉球大学名誉教授 日本学術会議連携会員）
15:00	地名の情報学とデータ駆動型研究の展開 北本朝展（ROIS-DS人文学オープンデータ共同利用センター センター長）
15:20	教科書における地名表記 本田智比古（帝国書院編集部企画室課長）
15:40	規範なき地名の取扱いとその影響 今尾恵介（著述業）
16:00	休憩
16:10	総合討論 〈司会〉高木彰彦（九州大学名誉教授）
16:50	閉会挨拶 春山成子（三重大学名誉教授 日本学術会議第三部会員）
17:00	閉会